

# 錯視の世界

北岡明佳

立命館大学助教

## 第2回

### 「へび」

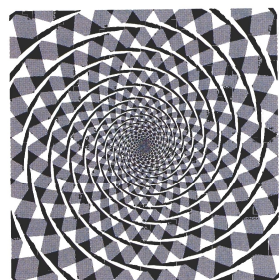
この図には中心が同じリングが五つ描かれています。しかし、眺めていると、右に回転して中心に向かう渦巻きに見えることがあります。このような錯視を渦巻き錯視と言います。

渦巻き錯視の歴史は古く、一九〇八年にフレージャーによってイギリス心理学誌に発表されたのが最初です。フレージャーは、今日フレージャー錯視として知られる傾き錯視を基本錯視として、渦巻き錯視を作りました(下図)。二〇〇一年になって、北岡、ピンナとブレルスタッフは、渦巻き錯視は、フレージャー錯視だけではなく、ツェルナー錯視や

きたおか・あきよし  
一九六一年、高知県生まれ。筑波大学大学院心理学研究科修了。教育学博士。二〇〇一年より現職に。錯視を使ったデザインという新ジャンルの構築・研究を重ねる。著書に史上初の錯視デザインの本『トリック・アイズ』(一、二巻。カンゼン刊)がある。

カフエウオール錯視といった標準的な傾き錯視からも構成されることを発見しました。

今回の錯視デザイン「へび」は、カフエウオール錯視系統の傾き錯視を基本図形に使っています。渦巻き錯視の説明としては、渦巻きのパターンを知覚する専用の神経細胞があって、それが間違えて同心円に応答したと考える数学的モデルが提案されています。



フレージャーの渦巻き錯視…同心円が渦巻きに見える

同心円が渦巻きに見える。「トリック・アイズ」より

©Akiyoshi Kitaoka 2002; ©Kanzen 2002